

**全国女性会館協議会 第57回全国大会
実施報告書**

| | | |
|---|-------|--|
| 1 | 日 時 | 2013年11月2日(土)・3日(日) |
| 2 | 会 場 | 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」 |
| 3 | 主 催 | 特定非営利活動法人全国女性会館協議会 公益財団法人三重県文化振興事業団(三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」) |
| 4 | 共 催 | 三重県 |
| 5 | 主 題 | 今こそ、 <small>パーソナル イズ ポリティカル</small> Personal is Political(ジブンの問題は社会の問題)～これからの私たちに必要な視点とアクション～ |
| 6 | 募集方法 | ①会員館への要項・参加申込書の配布 ②チラシ ③HP ④全国女性会館協議会HP |
| 7 | プログラム | <p>(1)11月2日(土)</p> <p>①開会行事</p> <p>◆挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利活動法人全国女性会館協議会 理事長 桜井 陽子 ・三重県 副知事 石垣 英一 <p>◆ 祝辞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内閣府男女共同参画局 局長 佐村 知子 ・ 文部科学省生涯学習政策局 生涯学習総括官 藤野 公之 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>② 対談</p> <p>「自分が選んだ道を進むために必要なこと」</p> <p>大石 静(脚本家)・永井 愛(劇作家・演出家/二兎社主宰)</p> <p>進行/青木 玲子((独)国立女性教育会館情報課客員研究員・和光大学非常勤講師)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> |

③「第7回事業企画大賞」詳細 **別紙1**

- ・事業企画大賞(1事業)、奨励賞(3事業) 表彰
- ・講評 審査委員長 石川 謙二
(NPO 法人日本 FP 協会三重支部幹事、
社会保険労務士)
- ・事業企画大賞事例発表
「男女共同参画地域防災体制づくり事業」
青森県男女共同参画センター「アピオあおもり」



④「男女共同参画と防災・復興」最新情報

- ・ 内閣府男女共同参画局 調査課 社会的影響調査チームリーダー 土井 真知
- ・ 復興庁男女共同参画班 上席政策調査官 薄井 篤子
- ・ 文部科学省生涯学習政策局 男女共同参画課 女性政策調整官 中村 由己
- ・ 特定非営利活動法人全国女性会館協議会 常任理事 小山内 世喜子



⑤館内ツアー

⑥情報交換会

(2)11月3日(日)

①分科会

A:「個別課題から事業化する～新しい手法での男女
共同参画の発信」(事業企画)
事例発表／三重県男女共同参画センター
「フレンテみえ」専門員 はっとり 服部 ありゆう 亜龍



B:「女性関連施設のブランド化・見える化」(広報・情報発信)
事例発表／公益財団法人プラン・ジャパン
コミュニケーション部マネジャー かしわで 膳 みえ 三絵



C:「女性関連施設にとっての相談事業の役割～連携・協働」
(相談)
事例発表／東海地区「男女共同参画をすすめる相談事業」
研究会 とよた男女共同参画センター 松本 泰子



D:「中間管理職等リーダーに必要な力とは」(マネジメント)
 事例発表／公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会
 理事・事業本部長 納米 恵美子



②全国女性会館協議会全体会
 分科会報告、協議会からの連絡・周知事項



(3)その他
 東日本大震災女性支援販売ブース
 農産物、ジャム、タオル、手作りたわしなどの被災地の
 女性を支援する物産を販売しました。



資料情報交換ブース
 各会員館の情報誌、チラシ、広報物、各機関による
 防災に関する資料等が置かれ、情報共有しました。



8 事業企画
 大賞

- ① 事業企画大賞
- ◆ 事業企画大賞
 - 青森県男女共同参画センター「アピオあおもり」
 男女共同参画地域防災体制づくり事業
 - ◆ 奨励賞
 - 福岡県男女共同参画センター「あすばる」
 「ふくおか女性いきいき塾」
 - 静岡市女性会館「アイセル 21」
 静岡市女性会館 20 周年記念誌編集・発行
 「この本に出会えてよかった！ワタシを変える Select100」
 - 札幌市男女共同参画センター
 「さっぽろ女性起業ネットワーク支援事業」
- ② 審査委員
- ◆ 審査委員長
 石川 謙二(NPO 法人日本 FP 協会三重支部幹事、社会保険労務士)

審査委員
 東福寺 一郎(三重短期大学学長)
 濱口 和美(キャリアカウンセラー・TOC5リーダー)
 山口 文代(特定非営利活動法人全国女性会館協議会理事)
 柏木 はるみ(三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」所長)

- 9 参加者数とアンケート結果
- ◆ 会員館関係者参加者数:109人 (うち会員88人)
 - ◆ 参加者会員館数:41館
 - ◆ 一般参加者数(大石静×永井愛):270人 (対談総参加者350人)

| プログラム | 参加者数 | アンケート回収数 | よかった | まあまあよかった | あまりよくなかった | よくなかった | 未記入 | |
|------------------|--------------------------------------|----------|------|----------|-----------|--------|-----|---|
| 開会式 | 350 | 191 | 152 | 30 | 2 | 1 | 6 | |
| 対談参加 | 350 | 191 | 152 | 30 | 2 | 1 | 6 | |
| 対談(会員) | 88 | 38 | 28 | 10 | 0 | 0 | 0 | |
| 事業企画大賞 表彰・発表・講評 | 78 | 38 | 26 | 8 | 3 | 0 | 1 | |
| 男女共同参画と防災・復興最新情報 | 79 | 38 | 21 | 11 | 5 | 0 | 1 | |
| 館内ツアー | 55 | 38 | 18 | 12 | 1 | 0 | 7 | |
| 情報交換会 | 89 | 38 | 23 | 3 | 2 | 1 | 9 | |
| 分科会 | A:「個別課題から事業化する～新しい手法での男女共同参画の発信」(事業) | 33 | 9 | 5 | 4 | 0 | 0 | 0 |
| | B:「女性関連施設のブランド化・見える化」(情報発信) | 27 | 11 | 8 | 2 | 0 | 1 | 0 |
| | C:「女性関連施設にとっての相談事業の役割～連携・協働」(相談) | 23 | 5 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | D:「中間管理職等リーダーに必要な力とは」(マネジメント) | 20 | 10 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 全体会 | 80 | 25 | 19 | 4 | 2 | 0 | 0 | |

| | | |
|----|-------|--|
| 10 | 感想 | <p>【会員館参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じミッションを持つ全国の方々と思いを共有でき、今後の仕事への励みになりました。課題は様々で困難なことも多くありますが、皆さんが頑張っているということを知り自分も頑張ろうという前向きな気持ちになれました。 ・大石さんと永井さんの対談とてもよかったです。「規制の価値を問質す」全くその通りです。分科会 相談事業に関することでは、初の取り組み、もう少し時間をかけて話し合いたい事ですね。 ・顔をあわせて情報共有、ネットワーキングする場は大事であることを実感しました。全国各地で頑張っている、様々な工夫をされている情報に勇気をいただきました。 ・最初の日、何かグループ共有できるものがあってもよかったですと思います。フレンテみえの皆様、全国女性会館協議会の皆様、準備、運営、本当にご苦労さまでした。ここでの学びを仕事に生かしていきたいと思います。 ・対談して下さったお二人は期待通り、おもしろく良い内容でした。防災についてのご説明は内容豊富すぎて時間が足りず、発表して下さる方も大変そうでした。けれど、国の防災に関する取り組みを知る良い機会になりました。分科会での内容も、今後の仕事のための良い勉強になりました。ぜひ、活かしていきたいと思います。 ・全国大会には3年ぶりに参加しました。又エックの交流フォーラムとはまた違った形でセンターの方々と交流できてよかった。 ・せっかくの機会なので分科会2つくらい参加できるといいと思いました。 ・他センターの生の声が聞ける機会はなかなかないので情報交換の時間を多くとってほしいです。 ・全国センターの担当レベルで情報交換・共有できる仕組み よろしくお願ひします。 |
| 11 | 主催館感想 | <p>全国大会を三重県で開催するにあたり、1年以上前から進めてきましたが、関係各所等の調整に想定以上に時間がかかり、当日の運営においても行き届かなかったところも多く、反省点は多々あります。しかし、全国大会という大きな事業を開催させていただいたことは職員としても非常に貴重な経験であり、学びの機会となりました。</p> <p>また、全国各地から多数のご参加をいただき、参加者の皆さんからも、対談、分科会等も含めて全体的に好評をいただきました。「このような場で顔を合わせて情報共有・課題検討しネットワークを図ることの重要性を再確認した」との声が多く、協議会の役割や全国大会の意義や効果について改めて確認でき、またさらに今後につなぐものとして終了することができたのではないかと感じております。</p> <p>協議会の皆様をはじめ、運営にご協力・ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。今後も、女性関連施設のネットワークが、各センターのエンパワーメントと共に男女共同参画の一層の推進に寄与されるよう期待しています。</p> |